

研究機関：広島大学

研究課題名	放射線治療における生物学的効果を影響した線量計算における Biological dosimetric margin (BDM)に関する研究
研究責任者名	広島大学病院診療支援部放射線治療部門 診療放射線技師 河原 大輔
研究期間	2017年9月25日(倫理委員会承認後)～ 2032年 3月20日
対象者	2005年 4月から 2030年 3月の間に、広島大学病院放射線治療科で肝臓癌、肺癌、 前立腺癌、脊髄腫瘍に対して放射線治療を受けられた患者。
意義・目的	放射線治療を行う場合、治療を行う前に事前にコンピュータで照射方法を考える治療計画を行います。この治療計画では1回線量や照射期間の違いによって時間の変化による放射線のDNA損傷修復の影響が考慮されておりません。この影響は放射線の生物学的影響と呼ばれ、生物学的影響を把握しておくことは今後の放射線治療において線量を検討するために重要な要素になります。今回私たちは生物学的影響を及ぼすパラメータ(1回線量、照射間隔など)に関して違いがある場合の線量分布の変化を検討いたします。 今回の研究では今後生物学的影響の違いが想定された際に線量の変化を補償するための方法を考案する予定です。
方法	本研究は、全て診療で使用した画像の情報のみを転記して行います。 転記する内容は画像のみで匿名化处理をおこないます。 (個人が特定出来る情報は転記しません)
試料・情報の管理責任者	広島大学病院診療支援部放射線治療部門 河原
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院診療支援部放射線治療部門 職名： 診療放射線技師 氏名： 河原 大輔 連絡先電話番号： 082-257-5561 e-mail： daika99@hiroshima-u.ac.jp